

040

**実践的な防災力を身に付ける
香川大学防災士クラブによる
地域防災活動**

取組主体

国立大学法人香川大学

従業員数

想定災害

実施地域

63人

全般

香川県

・防災士の資格がとれる「防災士養成講座」の開講に加えて、資格取得者向けに地域の防災訓練や被災地活動に参加できる「防災士養成プログラム」を提供している。

1 取組の概要

学部1年生を対象に「防災士養成講座」を開講

・香川大学では、2009年から防災士を養成するための講座を開講し、全学部が受講可能な講義として学部1年生を対象とした「防災士養成講座」を通年で開講している。

資格取得者向けは地域ボランティアに参加し、実践を積む

・授業を受けて防災士資格を取得した学生は、「香川大学防災士クラブ」として、平時から香川県内での防災訓練や防災教室に参加し、地域の防災啓発を図るとともに災害発生時に地域住民と協力しやすい関係性づくりに取り組んでいる。



地域での防災教室

聞き手に合わせた防災教育の企画・実施

・防災訓練に参加する際は、簡易実験装置を持ち込み、参加者に現象の理解も促す工夫をしている。家屋の耐震性の効果については、木造住宅の模型を使って、家屋の揺れやすさや耐震性の重要性が学べる教材「ピノキオぶるる」を用いて啓発を行っている。また、水害の際の水の流れ方、土砂の流出・運搬過程についても、河川モデルの装置を使用して説明している。

・防災教室では、非常食クッキングや HUG(避難所運営ゲーム)など、対象者に合わせた取組を実施している。



イベントの様子

高齢者との交流でネットワークづくり

・地域の高齢者との交流活動としては、絵手紙を交換する「絵手紙プロジェクト」の取組がある。災害の時に協力し合えるように、「絵手紙」で交流を続けると同時に地域の一員としての学生の活動が、地域コミュニティのネットワークの一つになっている。

災害時の運営支援

・災害時には、被災地を支援する災害ボランティアとしても活動している。一般ボランティア活動に参加することもあるが、ボランティアセンターの運営支援を行ったこともあり、チラシのポスティングやデータ整理、裏方としての業務を担ったこともある。

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

幅広い人に防災に興味を持ってもらうための工夫

・防災士の役目は、子どもから大人まで幅広い人に防災に興味を持ってもらうことにある。そこで、非常用持ち出し袋など災害時に必要な備えについて知ってもらうだけでなく、なぜ災害が起こるのか、ひとたび災害が起こると、どの範囲まで、どのような影響が及ぶのかなど、「ピノキオぶるる」や河川モデルといった装置を使用することで、より多くの人に災害とその影響について少しでも興味を持ってもらえるよう工夫している。

3 取組の効果

・2015年からの活動で、のべ268回のイベントを実施し、参加した学生・教職員は3262人にのぼっている。

国土強靱化

- ・防災士クラブに所属していた学生が、卒業後に地元の消防団に入って防災活動を継続しているといった事例もあり、活動を通して防災に興味を持つきっかけとして、防災啓発活動としての効果は出ていると感じる。

4 取組への想い

- ・2009年より「防災士養成講座」を開講していたが、資格をとった学生が、実際に地域で活動する機会を設けるために、2014年に「香川大学防災士クラブ」を結成し、「防災士養成プログラム」の講座も開設した。
- ・取組にあたっては、相手がどうすれば防災に興味を持ってくれるのか、その地域の特性やその人の体験を踏まえて、どのようなプログラムを開催することが適切か、といった問題に直面してきた。しかし、いつか来る災害発生時に少しでも私たちの活動が地域の人々の助けになることを願い、都度プログラム内容を工夫しながら、活動を継続している。

5 防災・減災以外の効果

- ・防災士クラブで活動した卒業生が、活動に顔を出してくれることがある。社会で活動する卒業生と交流することで、学生は自分たちがやっている活動に誇りと自信を持つことができている。
- ・防災活動を通してした団体等とは平時からのイベントのお手伝いとして参加する等の交流が生まれ、学生たちは、学生同士の活動だけでは経験できないような体験ができている。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・私たちが活動することで香川県における防災意識はわずかではあるが高まっていると感じる。一方で、災害が少ない香川県では地域住民自体の防災意識がまだまだ低いという課題もあり、本活動を通してさらに住民の防災意識を高めていければと思っている。

7 周囲の声

- ・「若い子達が汗を流して活動に参加してくれ、その笑顔を見ているだけでも気持ちが明るくなる。継続して活動に来てくれるうちに、香大生が来るのが楽しみで待ち遠しくなってきた。被災地のことを忘れず気にかけてくれる若者がいるのは嬉しい。」（被災地の被災者）
- ・「地域と防災について考えている若者がいること自体が嬉しい。未来は明るい。」（講習会等の参加者）
- ・「大学生と一緒に防災を学べるのは楽しい。でも楽しいだけでなく、自分の命を守るために大切なことだと分かった。」（イベントに参加した児童・生徒）

担当者の声

- ・大学生活は、自分の将来を考える上で非常に貴重な時間であり、経験・出会いから学ぶことは自分がどのような社会人となっていきたいか考えるきっかけにもなります。香川大学防災士クラブの活動を通じて、成長を感じたという学生も多いため、今後この活動によって、参加学生の防災意識の向上のみならず、将来の仕事や取組について考えるきっかけにつなげていければと考えています。

問合せ先	動画	サイトURL
国立大学法人香川大学 法人番号：7470005001659 電話番号：087-864-2146（創造工学部 創造工学科 防災・危機管理コース） 087-832-1653（四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構内） 087-864-2544（防災士協会や防災活動に係るお問い合わせ） E-Mail：nonomura.atsuko@kagawa-u.ac.jp （担当：創造工学部創造工学科 防災・危機管理コース 野々村敦子） E-Mail：takahashi.mari@kagawa-u.ac.jp （担当：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 高橋真里）	—	—